

原発事故の復旧はコントロールなどされていない!

国労九州

復第 90号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニコニコハイブ 1003
092-483-1515
発責 千々岩隆
編責 西山泰三

政府は原発の復旧は順調に進みコントロールも出来ており、安全性をアピールして2020年東京オリンピックの招致を行いました。しかし、毎日150トンもの放射能汚染水が溜まり続けて、100万トンを超え最終的な処理方法も決まっておらず、一部は海洋に流れだしています。また廃炉に向けて最大の難関といわれるデブリの取り出し作業は、場所の把握も出来ず、その技術の確立の目途さえ立っていません。未だに格納容器内で毎時80Sv 数分で急性死)もの高い放射線に拒まれていきます。

事故以降、県内各地あったモニタリングポストのうち2400台を 放射線が安定してきた」と撤去し、避難指示区域を大幅に緩和 年間20mSv)して補償を打ち切り住民を強制的に帰還させようとしています。収束に向けて躍起になっていますが収束どころかコントロールさえできていません。



福島県は6月18日被ばくによる甲状腺検査結果 原発事故当時18歳以下だった38万人が対象)を発表しました。がんの疑い37人、がんと確定した人は164人と事故から7年経ち被害が拡大されていることが分かります。

通常、小児甲状腺がんは百人に一人程度 しかし県は検査の性質やチェルノブイリと比較して甲状腺被ばくが少なくとして、福島原発による被ばくの影響とは考えられないとして認めようとしません。これから先も発症が拡大する恐れがある事から引き続き監視が必要です。

JR常磐線は地震と原発事故のため、いわき駅以北は一時不通となっていました。その後徐々に運転を再開し、現在は富岡駅〜浪江駅の区間が不通となっています。2020年3月の開通をめざして除染や復旧作業が急ピッチで行われていますが、多くの住民が避難したままで双葉地方を通過するために開通する意味や高線量の中で働く労働者の健康問題が山積みとなっています。



常磐線 不通区間「夜の森駅」ホームを除染したフレンコンバッグが置いてある。2020年開通を計画中。

・組織拡大に全力をあげよう!

・大胆に国労加入を訴えよう!

・各機関で対策会議を開催しよう!

・組織拡大の統一行動を展開しよう!

福島原発事故では甚大な被害が発生しましたが、放出した放射能は幸いにも偏西風により海洋に80%、陸上に20%であったと言われます。もしこれが九州の川内 玄海原発で過酷事故が起きれば、立地条件からして、そのほとんどが内陸に流れ被害は福島の非ではないことが想像できます。今回の視察や学習会を通して、改めて原発の怖さを感じさせられました。再生可能エネに転換し原発を廃止するための運動を強化していく必要があります。

●契約年齢は満85歳まで

①-1 上記内閣生体は保障の対象外

Planに組み込まれた特約

| | | |
|---|--|---|
| 診断 がん 一発金として 50万円 上記内閣生体 5万円 | 手術 1回につき 20万円 | がん 先進医療 1回につき 15万円 |
| 特定診断 がん 一診金として 50万円 | 放射線 1回につき 20万円 | 複数回 診断 1回につき 50万円 上記内閣生体 5万円 |
| 入院 1日につき 10,000円 | 抗がん剤 ホルモン剤 10万円(1回につき) 5万円(1回につき) | 特定保険料 払込免除 |
| 通院 1日につき 10,000円 | | |

■専任代理店(アフラクは代理店制度を採用しております)

アフェール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引受保険会社)
「生きる」を創る。
アフラク
東京第二法人営業部
東京都中央区本町2-1-1 新橋三井ビル3F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2058
※2018年10月31日現在